

2023年10月6日
株式会社三菱UFJ銀行

株式会社安藤・間と「ESG 経営支援ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループの一員である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

この度、株式会社安藤・間（代表取締役社長 国谷一彦）は、MUFG ESG 評価において「業界をリードする ESG 経営」と最高評価である S ランクを取得しました。

株式会社安藤・間は「中期経営計画 2025」でも公表しているとおり、E・S・G それぞれについて数値指標および重点施策を定め、各施策を着実に実施しています（注 1）。これからもサステナブルな社会実現に向けてさらなる貢献を果たしていくために、ESG 経営を推進していきます。

【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

全体	・ トップメッセージにてトップマネジメントのコミットメントを公表
E（環境）	・ 「環境重点取組」を基にした3か年の環境目標を定めた上で、環境戦略委員会において審議し、サステナビリティ委員会に報告するという枠組を構築 ・ GHG 排出量についてスコップ 1,2,3 それぞれについて ISO14064 に則った第三者保証を取得
S（社会）	・ エンゲージメントスコア、女性の管理職人数増加、資格（建築士など）保有者数増加といった KPI を策定 ・ 外国人技能実習生を雇用する協力会社に対してアンケートの実施
G（企業統治）	・ 代表取締役が委員長を務めるサステナビリティ委員会を設置 ・ 社外取締役が過半数を占める指名報酬委員会により取締役が選任される旨の基準がコーポレートガバナンス報告書において開示

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

（注 1）安藤ハザマグループ中期経営計画 2025 詳細は [こちらから](#)

以上